

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
公民	政治・経済総合	普通科・3年・文系選択	2
教科書 副教材等	[主たる教材] 東京書籍「政治・経済」 山川出版「詳説 世界史B」 [副教材] 浜島「最新図説 政経」 清水書院「完全MASTER政経問題集」		

1 学習目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- (1) 現代の政治 現代の日本の政治及び国際政治の動向に関心を高め、政治についての基本的な見方や考え方を身につける。
- (2) 現代の経済 日本及び世界の経済動向に対する関心を喚起し、現代経済の仕組みや機能について理解する。
- (3) 現代社会の諸課題 政治や経済に関する基本的理解を踏まえ、現代社会の諸課題を探究し、望ましい解決の在り方について考察を深める。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 5 6 7	福祉社会と日本 経済の課題	教科書、副教材 問題集、プリント	1 国民の暮らしと環境 ・消費者の自己責任と権利の確立 ・ノーマイカーデーで考える公害と環境政策 2 雇用と労働問題 ・労働者の権利とは ・入社試験にトライ(ビジネスマナーを身につけよう)	5 20	定期テスト 授業の取り 組み
8 9 10	国民経済と国際 経済		3 社会保障 ・将来の暮らし、何が不安 ・国民死活白書から見えるもの 4 世界経済と日本 ・商品と資本の流れ-T P Pを考える ・国際経済関係の緊密化	24 10	
10 11 12 1 2 3	現代の国際政治		・自由貿易は南北問題の解決を促進するか 5 国際社会における日本の立場と役割 ・新聞記事から学ぶ国連 ・人種・民族問題の危機	5	

計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

- ・各単元ごとにワークシートの時間を設定します。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解

<p>現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究しようとしている。また、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現に向けて主体的に学ぼうとしている。</p>	<p>現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断できている。</p>	<p>現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を収集し、有用な情報を選択して効果的に活用しているか。また、各テーマにおいて求められる言語活動において、適切に表現することができる。</p>	<p>現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を収集し、有用な情報を選択して効果的に活用しているか。また、各テーマにおいて求められる言語活動において、適切に表現することができる。</p>	<p>現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。</p>
<p>以上の観点を踏まえ、発言状況、内容、提出物、ワークシートの記述状況などから総合的に評価します</p>				

6 担当者からのメッセージ

受験を勝ち抜く力を身につけるだけでなく、現代社会を主体的に生きるために必要な思考力・判断力・表現力を高めてもらいたいと考えています。自分が変わると、同じものを見ても見え方が変わります。その楽しさに気付いてもらえるような授業を目指します。 担当者：公民科教諭